

教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝 7:00 に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。そのメールで「できるだけ 3 週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、tsubaki.yuki1229@gmail.com にお問い合わせください。

また、Instagram でも、毎週金曜にお知らせを出しているの、フォローをお願いします。

★椿由紀 Instagram https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/

この教材の使い方

- (1) 教材は Word と PDF でリリースします。Word ファイルはお好きのように加工してください。不必要と思われる問題のカット(削除)、本文や設問のアレンジ差し替え、加筆修正、イラストや写真を加えるなど、自由です。
- (2) 「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい(逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい)」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。
- (3) 毎回、スペルや文法ミスがないか細心の注意を払っていますが、それでも間違いを発見した場合、後日 HP に訂正版を出しています。申し訳ありません。もしミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。
- (4) 全ての教材に暗唱文(重要な文法、使える表現を含むキーセンテンス3~5文)を付けています。「夢タン」の著者の木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道」と教えていただいたことをヒントに、2021 年から始めました。文を暗唱してからニュースを読んでも、ニュースを読んでから仕上げに暗唱しても良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事・動画

<https://www.independent.co.uk/news/world/americas/us-politics/trump-musk-fight-timeline-history-b2764781.html>

<https://edition.cnn.com/business/timeline-elon-musk-trump-x-dg>

<https://x.com/elonmusk>

<https://www.businessinsider.com/elon-musk-criticizing-big-beautiful-bill-2025-6>

<https://www.businessinsider.com/trump-gift-elon-musk-key-white-house-doge-2025-5>

<https://abcnews.go.com/Politics/key-adviser-bitter-feud-timeline-musk-trumps-relationship/story?id=122558371>

<https://people.com/donald-trump-elon-musk-feud-timeline-11749663>

<https://www.bbc.com/news/articles/cz9y4exj822o>

1 ページ

★単語 agree with ~ : ~に賛成する apologize : 謝罪する

Q1 親しい男性二人の友情

Q2 Because (many people believed) he helped start the riot at the U.S. Capitol on January 6, 2021.

Q3 He bought Twitter and let Trump come back to the platform.

Q4 DOGE (政府効率化省) の長に任命した。

Q5 He gave him a big key (and called him “a very special person”).

Q6 ①お金の無駄使いだから ②テスラのような電気自動車の会社を助けないから

Q7 Because Trump stopped supporting EV companies without telling him.

(Because Elon Musk is a founder of an EV company, Tesla.などの答え方でも良いと思います)

Q8 「私がいなければ、トランプは選挙に負けていただろう。」 ※3 ページの文法参照

Q9 Musk did.

Q10 It says that even strong friendships can break easily when people fight over power and pride.

2 ページ

Q11 自由回答（下に解答例を書きます）

★I don't think they can become friends again because they fought over important things like politics and business. It's hard to rebuild trust.

★Yes, I think they can be friends again because they had a strong friendship in the past, and people can forgive each other.

Q12 E メールの返事 解答例

I think Twitter was better before.

After it became X, I have seen more hate speech and fake news. I don't like that.

About your second question, I think some friendships can survive big fights.

But Trump and Musk are fighting about power, so maybe they will not be friends again.

What do you think?

3 ページ

- 1 1. もし私が鳥なら、空を飛ぶことができるのに。
2. もし私がもっとお金を持っていたら、新しいスマートフォンを買うのに。
- 2 1. were, would 2. were, could become
- 3 1. were, would 2. had, would go
- 4 1. もし私がもっと一生懸命勉強していたら、去年そのテストに合格することができただろうに。
2. マスクは言った。「もし私が助けなければ、トランプは選挙で負けていただろう。」
- 5 1. had lost, have got 2. had not bought, have returned
- 6 If I were the president, I would stop all the wars in the world.
If I were the president, I would build more parks and libraries.
If I were the president, I would help more poor people.
If I were the president, I would make a rule to protect the Earth.

指導の手引き（高校生の教材の内容とほぼ同じです）

■6月13日、イスラエルがイランを攻撃したという大きなニュースが入ってきました。
世界規模の戦争が始まるのでは？と心配している人も多いと思います。
そんな中、「トランプ大統領とイーロン・マスクが喧嘩した」というニュース教材を執筆していた私は、
「世界では、こんなに大変な戦争が起こっているのに、はっきり言ってこの二人の喧嘩なんて、どうでもいい！」
「いい大人、しかも世界を動かすリーダーが、低レベルな悪口をぶつけあって、みっともない！」
…と心底あきれてしまいました。

しかし、先日、私の塾の中学3年生に言われた、ある言葉を思い出しました。
「僕たち、将来は大人になるので、バカな大人たちの生き方をよく見ておいて、反面教師にするのも大切です！」
…そんな生徒さんの言葉を思い出し、このニュースを教材にすることにしました。

■“bromance”（男性同士の熱い友情）という英単語は、比較的新しい単語で、
21世紀になってからドラマや映画で使われ始めた若者言葉だそうです。

■中高生の皆さんには、トランプ大統領とマスク氏の背景にある価値観、ビジョンの違いに注目してほしいと思います。

例えば…

★「アメリカファースト」を掲げるトランプ大統領と、地球規模でビジネスを展開したいマスク氏は、
見えている世界が若干異なる（＝トランプ大統領は、国の税金節約のためEVを補助したくない。
だが、テスラ創業者のマスク氏は、EVをもっと売りたい。特に今後は中国で積極的にビジネス展開したい）
このような見方もできるでしょう。

■マスク氏は、PayPal やテスラ、SpaceX などの成功で知られますが、
最近「X」（旧 Twitter）の運営において評価が分かれています。

X は、「言論の自由」を掲げる一方で、差別的発言やフェイクニュースの増加も指摘されています。

日本高校生の皆さんの中にも、「Twitter が X になってから、評判が落ちた」と薄々感じている人は、多いのではないのでしょうか？（私自身も X を使っていますが、Twitter だった時代に比べて、要らない広告や、悪口などの書き込みが多いと感じています。）

■話は変わりますが、5 月上旬、ビル・ゲイツ氏のニュースが入ってきました。

●米マイクロソフトの創業者ビル・ゲイツ氏（69）が設立した慈善団体「ゲイツ財団」は 8 日、
ゲイツ氏が 2045 年までに全財産を途上国の公衆衛生の改善などに寄付すると発表した。

<https://www.asahi.com/articles/AST582F1RT58UHBI00TM.html>

ビルゲイツ氏も、マスク氏と並ぶ偉大な実業家です。

しかし、ゲイツ氏の生き方を見ていると「お金を持っている人が偉いのではなく、お金の使い方がその人の価値を決める」と感じてしまいます。

中学生の皆さんには、いろんな大人の生き方を見て、自分の生き方について考えてほしいと思います。

※授業中、時間があれば、ゲイツ氏の上記のエピソードも、生徒さんたちに紹介してあげてください。

■この教材で最も教えた文法事項は、仮定法過去完了です。

マスク氏が「もし私がいなければ、トランプ氏は大統領選挙で勝てなかっただろう」と言いました。

この構文は、まさに「ニュースで使われている生きた英語」です。

生徒さん達には、「仮定法過去完了の典型的な例文」として紹介したいと思います。